



報道関係者 各位

令和4年2月28日

【照会先】

徳島労働局職業安定部職業安定課
課長 森野 和人
課長補佐 佐藤 雅彦
(電話番号) 088-611-5383

令和4年3月新規学校卒業予定者(高卒・大卒)の就職内定状況等を取りまとめ

～新規高卒就職内定率は令和4年1月末時点で92.5%～
(学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計)

～新規大卒就職内定率は令和4年1月末時点で72.9%～

「徳島新卒者等人材確保推進本部」(本部長 伊藤浩之徳島労働局長)は、令和4年3月新規学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況(令和4年1月末現在)(速報値)を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

I 新規高等学校卒業予定者

1 就職内定状況

(1)求職者(就職希望者数)は1,104人、前年同期(1,138人)に比べ34人(3.0%)減少した。

(2)就職内定者は1,021人、前年同期(1,050人)に比べ29人(2.8%)減少した。

(3)就職内定率は92.5%、前年同期(92.3%)を0.2ポイント上回った。

(注)前年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、高校生の選考・内定開始日が10月16日となり、例年より1か月後ろ倒しとなっていました。

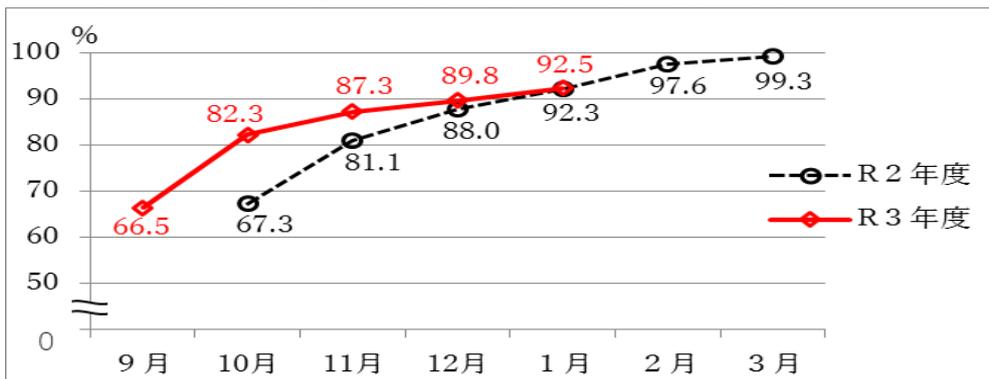
令和3年度

$$\frac{1,021 \text{人 (就職内定者数)}}{1,104 \text{人 (就職希望者数)}} = 92.5\%$$

令和2年度

$$\frac{1,050 \text{人 (就職内定者数)}}{1,138 \text{人 (就職希望者数)}} = 92.3\%$$

※学校または安定所を通じた就職を希望する生徒の状況の集計



2 求人の状況

県内の安定所で受理した求人数は2,265人で、前年同期(2,144人)に比べて121人(5.6%)増加した。

3 県内就職希望者の状況

- (1) 県内就職希望者は886人、前年同期(877人)に比べ9人(1.0%)増加した。
- (2) 県内就職内定者は809人、前年同期(791人)に比べ18人(2.3%)増加した。
- (3) 県内就職内定率は91.3%、前年同期(90.2%)を1.1ポイント上回った。

4 求人倍率

県内就職希望者の求人倍率は2.41倍で、前年同期(2.32倍)を0.09ポイント上回った。

II 新規大学卒業予定者

1 就職内定状況(届出済分)について

- (1) 求職者(就職希望者)は2,020人、前年同期(2,064人)に比べ44人(2.1%)減少した。
- (2) 就職内定者は1,473人、前年同期(1,643人)に比べ170人(10.3%)減少した。
- (3) 就職内定率は72.9%、前年同期(79.6%)を6.7ポイント下回った。

※本調査は、徳島労働局管内の各安定所が、未内定学生への就職支援のために、学校が既に把握している範囲での内定状況等を報告していただいた数の集計であり、内定を受けていても学校に届出していない学生は未内定として計上されます。文部科学省と厚生労働省が、共同で調査して公表している全国の数値と直接比較できるものではありません。

2 求人の状況について

県内・外の事業所から大学に提出された求人数は384,582人で前年同期(395,708人)に比べ、11,126人(2.8%)減少した。

《就職支援の取組》

- (1) 令和3年度、徳島労働局においては、若者に対する就職支援を重点施策とし、とりわけ新卒者等の就職支援を推進し、若者と企業のマッチングの強化に取り組んでおり、今後も各高校、大学等の就職支援担当者と一体となり、連携を保ちながら未内定生徒・学生一人一人に対し、就職支援ナビゲーターが担当者制により、求人情報の提供、履歴書の添削、模擬面接による指導等、きめ細やかな個別指導を実施し、就職に結びつけます。
- (2) 令和4年2月25日(金)に開催した徳島新卒者等人材確保推進本部第2回会合で、「今後の未内定者就職支援の実施方針」を決定しました。産・学・官の関係機関がより緊密に連携することにより、1日も早く、将来ある新卒者の就職の実現に取り組んでまいります。